

江 総 務

平成 20 年 10 月 15 日

国土交通省道路局長 様

北海道檜山郡江差町長 濱 谷 一 治



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

平成 20 年 9 月 19 日付国道企第 37 号を以って依頼のありました標記について、別添のと
おり提出いたしますのでよろしく取り計らい願います。

(総務政策課政策推進係)

今後の道路行政についての意見・提案

① 道路行政全般についての改善すべき点、要望や提案など

道路は地域住民の生活や経済・社会活動を支える最も基礎的なインフラ整備であり、高規格幹線道路から町道に至るまでの道路網の整備は、地域の住民が長年にわたり熱望してきているところからも、中長期的な視野に立って体系的かつ計画的に推進されるべきものであります。

しかしながら、広域分散型社会を形成し、自動車交通への依存度が高い当該地域の道路整備は、他の地域に比べ大きく立ち遅れており、特に冬期間の厳しい気象条件などによる交通障害を解消し、地域における「活力ある地域づくり」や「安全で快適な生活環境づくり」更には「観光の町づくり」を支援する上で、より一層重要となっております。

特に高規格幹線道路ネットワークの形成は、圏域間の交流・連携の強化、地域経済の活性化、高次医療サービスの確保や災害時における代替性の強化などを図る上で最も重要な課題であります。

ついては、次の事項を強く要望します。

<要望事項>

- 1 道路整備を計画的かつ直実に進めるため、受益者負担という道路特定財源制度の趣旨に反することなく必要な財源を確保すること。
- 2 今後の具体的な道路整備の姿を示した中期計画を作成するにあたっては、地域間格差への対応、安全・安心の確保、豊かな生活環境の創造等の観点から、地域住民の道路整備に対するニーズを幅広くくみ取るとともに、期待に応えるべく道路整備を計画的かつ着実に推進すること。
- 3 高規格幹線道路のネットワーク形成を早期に図るため、現在事業中の区間については効率的な整備を行うことにより、一日も早く供用するとともに、抜本的見直し区間のうち「当面着工しない」とされた区間については早期の事業化を図ること。また、利用者の利便性の向上を図るため、弾力的な料金設定に努めること。
- 4 今後、高齢化する道路ストックが増大することを踏まえ、道路網の安全性及び信頼性が確保されるよう、適時適切な修繕等による効率的な道路ストック管理を行うこと。
- 5 地方が真に必要な道路整備や維持管理を行うにあたっては、単に費用対効果を優先させるのではなく、地方の実情を十分に受け止め、地方への配分割合を高めること等により、地方における道路整備財源の充実に努めること。

今後の道路行政についての意見・提案

②－１ 地域の現状と抱える課題

○現 状

渡島半島において、主要道路網の整備促進は重要な課題であり、現在、北海道自動車縦貫道、高規格幹線道路「函館・江差自動車道」の主要幹線道路は平成２７年の新幹線の開業に向け着実に進んでいるところでありますが、函館・江差間約７０ｋｍのうち、函館・木古内間（約３４ｋｍ）については整備計画区間となっており、現在、上磯・茂辺地間で本工事が進められております。しかしながら、木古内・江差間につきましては、基本計画区間には位置づけられているものの、整備計画区間への昇格が喫緊の課題とされております。

○課 題

道南地方、特に当町を含む渡島半島西南部の地域が発展するための主要課題は、新幹線開業後の観光振興や第１次産業の物資の流通等による経済の活性化と地域住民が安心して暮らせる救急救命医療の確保であり、都市部と結ぶ高速道路網の早期整備が重要な課題となっております。

また、道南には活火山である「駒ヶ岳」があり、非常時には札幌方面への重要な経済路線としての活用が見込まれるなど、災害・異常気象時に対応できる道南の交通ネットワーク網の整備は極めて重要な課題であると認識しております。

○ 高規格幹線道路「木古内・江差間」の整備計画昇格

○ 高規格幹線道路「木古内・江差間」の江差側からの早期着工

今後の道路行政についての意見・提案

②－２ 地域の目指すべき将来像

＜高速交通ネットワークの強化＞

広域分散型社会を形成している北海道において、交通機関が相互に連携・連続した利便性の高い高速交通ネットワークの形成を図るため、高規格幹線道路をはじめとする交通ネットワークの整備を推進し、物流の高速化による地域資源のブランド化や高次医療圏への迅速な搬送体制が確立されることにより安心・安全な生活が確保されること、また、都市部への通勤圏内となることから定住人口の増が見込まれるなど、地域の活性化や経済の活性化等に大きな期待を寄せている。

今後の道路行政についての意見・提案

② 道路施策の重点事項（代表事例・期待する効果や評価等）

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域活力の向上 ・総合的な交通安全対策及び災害時の危機管理の強化	・高規格幹線道路「木古内・江差間」の整備計画区間への昇格 ・江差・上ノ国町間町道の道道昇格	・北海道新幹線の開業を睨み、今後の道南圏の観光振興や第 1 次産業の物資の流通等による地域経済の活性化と、地域住民が安心して暮らせる救急救命医療の搬送体制が整備されることにより安心・安全の住民生活が担保される。 ・江差町と上ノ国町を結ぶ道路は、国道 228 号線と旧国道を 2 町で引き継いだ町道の 2 路線しかなく、日本海の時化や吹雪、災害時には国道の迂回路として利用されている一方で高齢化が進む地区住民にとっては、通勤、通学、通院、買物等の生活路線となっているため、道道昇格での整備を進め、地域の幹線道路として、また、災害時の代替道路として等幅広い活用が期待される。	